

沼津ロータリークラブ

WEEKLY BULLETIN

よいことのため
手を取りあおう



2025～2026 年度 RI テーマ

RI 会長

フランチェスコ・アレツォ

RI 2620 地区ガバナー

稲葉 雅之

2025～2026

NO.3

ゲスト	稲葉雅之様（ガバナー・伊東西 RC）、杉本興一様（地区幹事・伊東西 RC）、芹澤豊様（静岡第 2G ガバナー補佐・裾野 RC）、小野靖様（同ガバナー補佐事務局長、裾野 RC）
-----	---

事務所 〒410-0881 沼津市八幡町 15
ビレッジ 35 303 号
☎055-963-0515 FAX055-963-5202

例会場 〒410-0802 沼津市上土町 100 番地 1
沼津リバーサイドホテル
☎055-952-2411 FAX055-952-2455

会 長 山 本 洋 祐
幹 事 塚 本 和 弘
会報委員長 市 野 貴 世

会長挨拶

会長 山本 洋祐

明日 7 月 19 日は土用の丑の日です。そこで、本日は土用の丑の日についてお話ししたいと思います。

まず、土用とは、立春、立夏、立秋、立冬のそれぞれの直前の約 18 日間を指し、季節の変わり目にあたります。

次に、丑の日とは、十二支の「丑」にあたる日のことで、12 日ごとにめぐってきます。

したがって、土用の丑の日とは、土用の期間中にめぐってくる「丑」の日のことを指します。

土用は、立春、立夏、立秋、立冬の各直前期を指しますので、年に 4 回やってくるわけですが、通常、土用の丑の日といえば、立秋（今年は 8 月 7 日）の直前期である夏の土用の丑の日を指すことが多いことは、皆様もご承知のとおりです。

そして、夏の土用の丑の日といえば、何といても鰻ということになるわけですが、夏の土用の丑の日に鰻を食べる習慣は、江戸時代の蘭学者平賀源内が売れない鰻屋に「本日土用の丑の日」との看板を出すよう助言したことが始まりだとする説が有力です。その他にも、夏バテ防止や滋養強壮のために栄養価の高い鰻が重宝されたとか、丑の日には「う」がつく食べ物を食べると縁起がよいという風習があった、といった説もあります。

先ほど今年の夏の土用の丑の日は 7 月 19 日だと申し上げましたが、実はその 12 日後の 7 月 31 日も夏の土用の丑の日だそうです。ですので、どちらの日でも、また別の日でも構いませんが、皆様、鰻を食べて、英気を養い、暑い夏を乗り切ってください。

出席報告

会員総数	42 名
出席計算に用いた会員数	40 名
出席計算に用いた出席者数	33 名
出席率	82.5%
前々回の修正出席率	90.24%

欠席者（9 名） 細澤君・木村君・松尾君・三好君・森藤君・中村君・渡邊（真）君・渡邊（芳）君・吉野君

8 月 1 日（金）例会プログラム

・桐陽高等学校 IAC 活動報告

桐陽高等学校 IAC

顧問 渡邊菜緒様・木川真緒様・生徒 3 名

会員誕生日	小林俊成君
配偶者誕生日	松尾百合恵様（洋君）
結婚記念日	該当者なし

ガバナー公式訪問



国際ロータリー第 2620 地区

2025-26 年度ガバナー 稲葉雅之様

本年度ガバナーを拝命しました、伊東西ロータリークラブの稲葉雅之です。

2025-26RI 会長予定だったマリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ氏の予期せぬ辞任発表があり、フランチェスコ・アレツツォ氏（イタリア、ラゲザ・ロータリークラブ所属）が新たに会長に選ばれました。『UNITE FOR GOOD（よいことのために手を取りあおう）』は会長メッセージとして継承されますので、空間軸と時間軸において、先にロータリアンから手を差し伸べましょう（The First to Act - Rotarians）。また、『革新』『継続性』『パートナーシップ』が成長のための【不可欠な3つの柱】と位置づけられ、1.「会員増強の重要性」 2.「継続性の重要性」 3.「パートナーシップの力」 4.「次世代へつなぐロータリー」をポイントとして掲げています。今回からRI 会長の単年度テーマはメッセージという形に変わり、従来から親しむ『ビジョン声明』が普遍的なテーマのように重きを置かれたということです。

今年の地区大会は12月に伊東市と伊豆市で開催され、国際大会は2026年6月に台北で開催されます。多くのご参加をお待ちしております。

さて、【奉仕、ある視点】と題して、様々な角度からそのあり方を考えていきましょう。

地区の財政的現状として、「米山奨学生 世話クラブ希望数 > 奨学生数」「青少年交換プログラム 派遣人数の低迷」「地区賦課金値上げ」等の課題があり、活動が抑制されている面も見られます。活動資金の改善には収入の増加や支出の減少が必要ですが、会員減少傾向や物価高において、簡単ではありません。DXや組織のスリム化の推進、「12のテスト」※の推奨、「クラブ・サポート・ミーティング」を行ったり、発想を変えてみたりと、何とか「奉仕の成果を落とさず効率化を図りたい」ものです。

（視点①）『ロヒンギャ問題』～『身近な平和啓発』

・ミャンマーへの支援件数は多いものの、より深刻とも思われる、迫害され国を追われたロヒンギャ族への支援には、やや及び腰の実態があるようです。奉仕の優先順位を考えさせられます。・軍事政権によって危険な状態にある現在のミャンマー人たちは、かつてのロヒンギャの人たちの人権を思うことができるだろうか。就労や実習で多くのミャンマー人が来日した今、日本のロータリアンの抱く平和について、共感の輪を広げることはいかなるでしょうか。

（視点②）『会社でワクチン』 「ポリオ根絶あと少し」

・寄付増額 ・周知啓発 ・貢献実感 ・参加基盤拡大一石四鳥となるか。

（視点③）『重点分野の優先順位』

7つの重点分野をよく見ると、「平和構築と紛争予防」に目が留まります。他の分野の全てにおいて、「平和でありさえすれば」、奉仕活動は効率よく進み、課題は改善するでしょう。紛争のために十分に活動ができない。とにかく「紛争の

ない平和な世界が望まれる」ということです。

<入会してよかった>

「ロータリーの例会は、人生の道場。人づくりの修練の場である」（米山梅吉）

「よいことのために、親睦からの、手を取りあって、ロータリアンから、笑顔の奉仕を、はじめましょう。」

※「12のテスト」 ①【DEI】 ②【奉仕効果】 ③【会員増強】 ④【真の楽しさ】 ⑤【奉仕の優先順位】 ⑥【委員会間連携】 ⑦【DX推進】 ⑧【寛容の精神】 ⑨【親睦からの笑顔で奉仕】 ⑩【ロータリーカード】 ⑪【3YEARS】 ⑫【アンチ ハラスメント】



幹事報告

- 1) 期首の挨拶訪問⇒7/11(金)沼津朝日新聞社・静岡新聞社、7/14(月)沼津市長(沼津4RC合同)
- 2) 7/26(土) 地区会員増強セミナー 3名出席 ⇒山本君・塚本君・渡邊(秀)君
- 3) 7/27(日) 地区米山記念奨学セミナー 6名出席 ⇒山本君・峯村君・井上君・木村君・中村君・鈴木君
- 4) 7/27(日) 沼津夏まつりクリーン作戦
- 5) 2025-26年度上期会費納入期日 ⇒7月末日

スマイルボックス 7月合計：58,000円

山本会長…①稲葉ガバナー、杉本地区幹事、本日はようこそいらっしゃいました。稲葉ガバナーには卓話をよろしくお願いたします。②芹澤ガバナー補佐、小野事務局長、先週に続いてのご来訪、ありがとうございます。

塚本幹事…稲葉ガバナー、芹澤ガバナー補佐、杉本地区幹事、小野事務局長、ようこそいらっしゃいました。本日は宜しくお願致します。

奥村君…中尾巨治君へのR情報提供のご縁に感謝し、今後のご健勝ご活躍を祈念致します。

向坂君…誕生日のお祝い有り難う御座います。77歳に成ります。

東君…稲葉ガバナー、沼津クラブによろこそ。本日は卓話をよろしくお願いたします。

野口君…結婚記念日のお祝いありがとうございます。毎年のこととはいえ、忘れずにおられるのもこのおかげです。

小暮君…お誕生日のお祝いありがとうございます。

中尾君…沼津ロータリークラブに入会し早や10カ月。短い間でしたが、皆様大変良くして頂き有難うございました。いつでも夜は呼んで下さい。